

ご存知ですか



うちどく

【家読(うちどく)】とは…

家庭において子どもを中心に家族で同じ本を読むことで、本を媒介として相互理解を深め、家族の絆が一層深まることを目指す活動のことをいいます。お子さんといっしょに家読(うちどく)はじめてみませんか。

子どもの読書週間事業

とびだせ!! えほんのせかい

と き：令和8年5月16日(土)

開場13:30 開演14:00

ばしょ：タレイピアセンター
集会室

入場無料

みんなきてね!

～第1部～

～第2部～

読み聞かせサークル

「ほけっと」による読み聞かせ

「らいおんくんのあかいもの」

「どうくんのさんぽ」

「かきのこまん」



「朗読ピア」による読み聞かせ

「あんぱんまんどばいせんまん」

「おぞみのおきょう」

主催：垂井町読書サークル協議会 共催：タレイピアセンター
問合せ：タレイピアセンター 23-3746

「垂井町第三次子どもの読書活動推進計画」に基づき、こどもたちが本を大好きになり、たくさんの本とふれあい、本との関わりの中で自らの生活を豊かにすることのできる環境づくりに取り組んでいます。

▲町読書サークル協議会によるイベント開催(予約不要：無料)

タリイピアセンターへ行こう!
としょかんへ行こう!

垂井町は「家読(うちどく)」を推進しています

問 タリイピアセンター ☎23-3746 FAX 23-3745
開館時間：午前10時～午後6時(学習室は午後5時まで)
休館日：5/7(木)、11(月)、18(月)、25(月)、28(木)

💡 電子書籍を読みたい人は
県図書館に申請しましょう



【今月号の新刊】



ほんとうのおおきさ
いきものずかん 是る

多田多恵子監修、小宮
輝之監修、金の星社

四季折々の生きものたちの、
本当の大きさや姿を写真で紹介。
意外と知らない本当の大きさや、
季節によって様子が変わる姿
などがわかる。「是る」の巻は、
タンポポ、モンシロチョウなどを
収録。調べ学習にも最適。



めでたしめでたしでは
終われない

五条紀夫、PHP研究所

「昨日助けていただいたアリです」と
いって現れる女性の数が、日に日に
増えていき…。「恩返し×増殖」(「鶴
の恩返し」)など、笑える結末から、
こわ〜い結末まで、1話5分で読める、
昔話がモチーフの短編9話を収録する。



3つの基本パターンで
始める素敵な寄せ植えの
つくり方

上田広樹、NHK出版

はじめてでもセンスのよい寄せ
植えが作れる、3パターンの基本
レイアウトを紹介する。植えつけ
作業やきれいに保つメンテナンス
方法、寄せ植えデザイン集、おす
すめの植物も掲載。



意見のちがう相手と
対立するのではなく
対話をするためのレッスン

木下理仁、旬報社

対話とは、そこにいる人たちが
力を合わせ、いっしょに答えを
探す共同作業。意見が分かれる、
ハッキリと答えが出せない。そ
んなさまざまなテーマを設定し
て対話を展開。人と話し合う感
覚とスキルを身につける方法を
紹介する。

お知らせ

- ▶テーマ展示「何歳からでも始めよう！"〇〇歳からの"本」[いろんな きもちのえほん] [竹中半兵衛 特別展示]
- ▶こどもの読書週間 5/12(火)まで
- ▶絵本のよみかかせ会 毎週土曜日 午後2時から
- ▶としょかんスタンプラリー 5/2(土)～7/26(日)

利用の記録

R8. 3月	開館日数	25日
	入館者数	6,007人
	貸出冊数	11,893冊

歴史探訪

南宮大社弓道場が新たに町登録文化財へ

南宮大社では、二月三日の節分の日に田の神に豊年をいのり、悪病をおいだすための行事として大御神事が行われます。この神事は、平安時代に起こった平将門の乱で、戦いに敗れた将門の怨霊の首が、都へ向かって飛んでいくのを南宮大社のご祭神である隼人神が射落としたという伝説にちなんだものとされています。このように、南宮大社と弓道の歴史は古くから伝えられていて、昭和四〇年の岐阜国体の際に、垂井町が弓道会場に選ばれたことは、南宮大社が鎮座していることも関係しています。

南宮大社弓道場は、岐阜国体の前年から供用され、国体の練習会場としても使用された国体ゆかりの建物であり、垂井町の弓道の歴史に深く関わる施設として一月二十九日に垂井町の登録文化財として登録されました。伊勢湾台風で倒れた木材を使用して作られていたとされ、杉板張りの格天井となっており、随所に立派な木材を使用した風格のある和風建築の建物です。今後も、垂井町の弓道の発展のために、活用されることが期待されています。



▲南宮大社弓道場

『垂井町史』通史編・史料編
タリイピアセンター、役場会計窓口、文化会館
で販売中 各4,000円